



# 1学年だより

2022. 6. 23

第4号

## 間もなく期末考査

6月30日(木)から1学期末考査です。あと1週間となりました。計画的に準備をしましょう。なお、今回の通知票(7/27 終業式 配付予定)には期末考査の点数そのものではなく、1学期全体の成績として、中間・期末の両考査はもちろん、小テストや提出物、授業に取り組む姿勢、出欠等いわゆる平常点も加味して、総合的に評価された点数が記載されます。100点法でつけられた点数を就職・進学用調査書等で使われる5段階評定で表すと右下のようになります。さらに、3年間の5段階評定の平均を評定平均と言いますが、進学でも就職でもこれが高いほうが有利なのは言うまでもありません。大学などの推薦入試の場合、これが出願の条件となっている場合も多く、「4.2以上」とか「4.0以上」となっていた場合、それ未満の者は受けることすらできません。また、本校の上級学校への推薦基準としても、3年1学期までの評定平均が「3.0」を下回る場合は、推薦しないことになっています(「進路の手引き」24ページ)。ですから、進路を最終的に決めるのは3年生になってからですが、今からできることをこつこつと精一杯積み上げておかななくてはなりません。

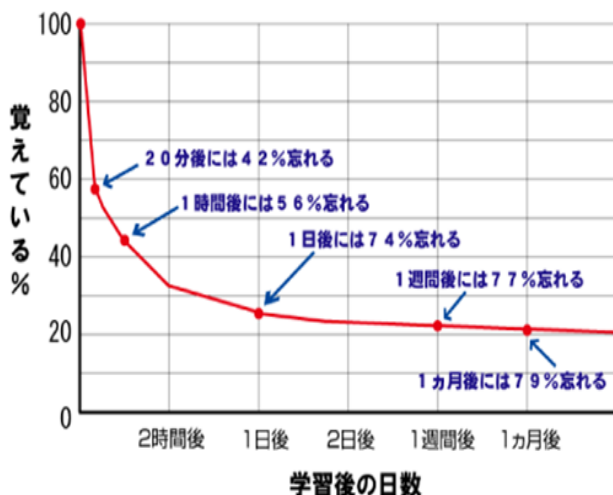
	30日 (木)	1日 (金)	4日 (月)	5日 (火)
1限	学習	学習	学習	学習
2限	数学Ⅰ	生物基礎	物理基礎	歴史総合
3限	公共	情報Ⅰ	論表Ⅰ	数学A
4限	国語 5,6限 通常授業	英CⅠ 12:35 放課	保健 12:35 放課	LHR 12:35 放課

80点以上 → 5  
65～79点 → 4  
50～64点 → 3  
40～49点 → 2  
40点未満 → 1

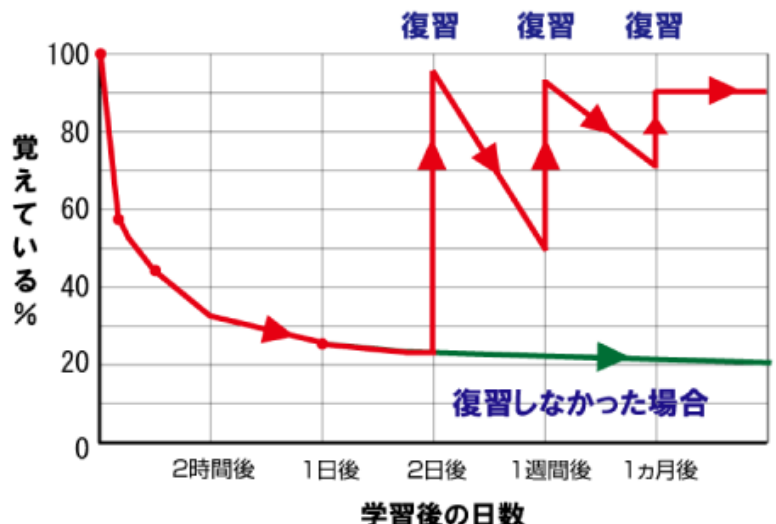


さて、勉強の仕方の参考として、人間の記憶についてひとつ紹介します。記憶の実験的研究の先駆者でヘルマン・エビングハウスというドイツ人の心理学者がいました。下の2つのグラフは彼が発表した「忘却曲線」と言われるものです。知識を定着させるために繰り返し復習することがいかに大切かを物語っています。

### エビングハウスの忘却曲線



### エビングハウスの忘却曲線と復習の関係



## 2年次選択必修科目調査の結果

5月25日（水）6限LHRの時間に2年次選択必修科目説明会を行い、その後約1か月の検討期間を経て、6月21日（火）が希望調査の提出締め切りでした。集約した結果、次のようになりましたのでお知らせします。

	1組	2組	3組	合計
日本史探究	19	14	15	48
物理	9	3	9	21
生物	12	23	16	51

## 生徒会役員選挙間もなく公示。執行部員募集中！

生徒会役員選挙が6月29日（水）公示されます。2週間後の7月13日（水）6限LHR時に行われる立会演説会、投票を経て、新しい会長と副会長が選出されます。その後、新会長・副会長による推薦や立候補により1、2年生による新執行部が組織され、各種生徒会行事を担っていくことになります。今回の体育祭もそうでしたが、生徒会執行部は全校生徒の意見を吸い上げながら、より実りある行事とするために準備し支えなければなりません。その仕事は、大変忙しく苦勞も多いものでしょう。しかし、誰かが絶対にやらなければならない仕事でもあります。また同時に、やれば必ず自分を成長させてくれる仕事でもあります。現在3年生が10名、2年生が4名で活動していますので、3年生が抜けた後、多くの執行部員が必要となります。1年生からも多くの立候補があることを期待します。

### 7月の主な行事予定

- 6/30日（木）～期末考査（7月5日 火曜まで）
- 7/5日（火） 救急法講習会
- 7日（木） 避難訓練
- 9日（土） 進研模試（全員）
- 12日（火） T123
- 13日（水） 立会演説会、生徒会役員選挙
- 20日（水） 人権学習（6限LHR）、T123
- 22日（金） 職員会議、T①
- 24日（日） 学校閉鎖
- 26日（火） 夏季球技大会（終日）
- 27日（水） 夏季球技大会（午前）、生徒会役員認証式、壮行式、終業式（午後）
- 28日（木） 保護者個別面談（希望者）開始



## 体育祭 青団 総合優勝！ パネルは赤団が制す

6月9日（木）体育祭が行われました。前日の8日（水）が当初の予定でしたが、前夜から降り続いた雨により、グラウンドのコンディションが悪く、1日順延となつての開催でした。その翌日の金曜は、朝から激しい雷雨となりましたので、この日に開催できて本当によかったと思います。競技とダンスは

青団、パネルは赤団が制し、総合優勝は青団でした。

さて、今年も昨年に続きコロナ禍の中での開催ということで、いろいろと制約はありましたが、常盤高校の底力を感じさせる1日でした。この日のために生徒会を中心に準備や練習を重ね、当日も精一杯競技に取り組みながら、スムーズな運営のために各自が力を尽くし、自分の任務を全うした姿は、たいへんすばらしいものでした。閉会式後の解団式が終わると、各団のリーダーを中心に全校生徒がグラウンドいっぱいの大きな輪となり互いの健闘をたたえていました。常盤高生のまとまりやパワー、「常盤愛」が強く感じられ、私は胸が熱くなりました。



